

守山企業景況調査報告書

(第41回)

令和元年10月～令和元年12月期 実績

守山企業景況調査について

(令和元年 10 月～令和元年 12 月期)

1. 調査方法

守山商工会議所会員企業 69 社に対し調査票を配布し、回答を依頼した。記入済み調査票は商工会議所へ持参、郵送、Fax 等により回収した。

2. 調査企業

産業別	調査対象企業数	有効回答企業数	回収率
小売業	20	14	70.0%
製造業	13	11	84.6%
建設業	12	9	75.0%
サービス業	19	14	73.7%
卸売業	5	4	80.0%
合計	69	52	75.4%

3. 調査期間

調査期間は、実績を令和元年 10 月～令和元年 12 月とし、調査時点は令和 2 年 1 月 31 日とした。

4. 調査データについて

調査の結果を示す指標として DI 指数を採用した。DI 指数とは Diffusion Index (景気動向指数) の略で、各調査項目について、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から「減少」・「悪化」したなどとする企業割合を差引いた数値である。

「業況」、「売上」、「採算(経常利益)」、「従業員」の DI 指数は前年同期との比較である。

「資金繰り」、「資金の借入れ難易度」の DI 指数は 3 カ月前との比較である。

「取引の問い合わせ」、「採算(経常利益)の水準」の DI 指数は過去との比較ではなく、調査時点での水準を聞いたものである。

調査の概要

昨年の同期との比較						
	業況		売上高		採算（経常利益）	
	10～12月期動向		10～12月期動向		10～12月期動向	
全体	▲ 19.6	雨	▲ 28.8	雨	▲ 23.1	雨
小売業	▲ 30.8	大雨	▲ 35.7	大雨	▲ 35.7	大雨
製造業	▲ 36.4	大雨	▲ 36.4	大雨	▲ 27.3	雨
建設業	0.0	曇	▲ 22.2	雨	▲ 11.1	雨
サービス業	▲ 14.3	雨	▲ 35.7	大雨	▲ 21.4	雨
卸売業	0.0	曇	25.0	薄曇	0.0	曇

DI 値が 30 以上=晴れ、10 以上 30 未満=薄曇、▲10 以上 10 未満=曇、▲30 以上▲10 未満=雨、▲30 未満=大雨

10 月～12 月期の調査結果を見ると、調査全体計で業況、売上高、採算（経常利益）で雨（▲30 以上▲10 未満）となった。前回調査から業況は▲11.0、売上高は▲28.8、採算は▲5.6 と数値が低下した。特に、小売業は3指標ともに大雨（▲30 未満）であり、製造業も業況と売上高で大雨で今回調査時点ではかなり苦戦を強いられた。一方で卸売業は業況と採算が曇（▲10 以上 10 未満）、売上高は薄曇（10 以上 30 未満）と他の4業種よりも高い数値であった。

